

大学と人材分科会（第2回）議事録

1. 日時：平成20年12月5日（金）10:00 - 12:00
2. 場所：学術会議5-A(1) 会議室
3. 出席者：笠木、馬越、大垣、三田、中西、永原、平松、益田

配付資料

- (1) 前回議事録（案）
- (2) 委員名簿（大学と人材分科会）
- (3) 委員名簿（日本の展望委員会）
- (4) 日本の展望委員会 今後の進め方等について（改定案）
- (5) 日本の展望委員会第3回議事録要旨
- (6) 課題整理
- (7) 「学術基本法」の制定を目指して
- (8) 平成21年度国立大学法人運営交付金概算要求の概要
- (9) 国立大学の目指す方向
- (10) 新聞報道

5. 審議内容

(1) 前回議事録の承認

議事録案を修正無く承認した。

(2) 幹事交替、新委員

- ・ 大垣委員の副会長就任にともない、幹事を永原委員と交替することを承認した。
- ・ 金子元久連携会員の委員就任（幹事会に報告済み）を承認した。

(3) 話題提供

予定していた戸谷官房審議官、青柳委員による話題提供は、都合により次回以降とした。

(4) 議題整理

笠木委員長より、資料（資料番号6）に基づき、大学の現状、検討課題等につき説明があった。資料に指摘されている事項以外に、さらに検討すべき課題につき議論をおこない、以下の点が指摘された（順不同）。

- ・ 学生が海外において学位を取るなど、海外へ出て行くことをエンカレッジする仕組み、帰国後のポストを確保する仕組み

- ・ 企業が、卒業生が大学において学んだことを評価していないという現状を改善する仕組み
- ・ 研究機関と大学との合併を含むより緊密な関係のあり方
- ・ 大学の適正な規模（学部、修士、博士）
- ・ 教員の教育に対する熱意、教員の意識改革
- ・ 大学における学生評価、入試における人材の評価などのありかた（学問的知識の獲得だけでなく、それ以外の力の獲得を計る仕組み）
- ・ 大学での勉学の目的に対する、卒業後の生き方や職業と関係の観点からのインセンティブの与え方

(5) 今後の進め方

- ・ 委員長より、資料6及び本日の指摘事項を整理して各委員宛にメールで送付し、各委員から、挙げられた検討課題のプライオリティあるいは課題に対する意見を提出する
- ・ 次回（1月～2月初旬） いくつかの話題提供を受けると共に、論点整理の審議を行う
- ・ 第4回（3月） 起草委員会に提出する報告書骨子の作成

(6) その他

日本の展望委員会の運営原則に沿って、議事録をウェブ公開することとした。

(以上)